

党派を超えて市民が激励

告示まで3週間に迫った都議会議員選挙(6月23日告示、7月22日投票)。

日本共産党のそねはじめ都議会議員

の事務所開きが3日、北とぴあスカイホールで開かれ、会場いっぱい支援者がかけつけました。

◆そね都議が決意表明

そねはじめ都議は「暮らし福祉のための予算は毎年増やす。そのために巨額の大開発推進の『逆立ち都政』をなんとしても転換したい」と決意表明。「4年前に17議席へと躍進したことで百条委員会設置など都政の間に切り込むことができた。都政に青空を取りもどすために何としても勝たせてほしい」と



訴えました。

事務所開きでは、そね都議推薦を自由党、新社会党が決めたことが紹介され、大きな拍手に包まれました。北区では初めてのことで、激励の挨拶が次々と寄せられました。新社会党の福田光「北区議会議員が、「都議選は野党共闘を進展させ、国政変革につなげる大きなたたかい」「そね必勝のため共にたたかていく」と激励、北総支部の推薦決議を読み上げました。

志茂一保存会会長の豊崎満さん、庶民のまち十条を守る会の伊藤勝さん、無党派の市民運動家で中里在住の田中一郎さん、東洋大学教授の大野裕之さんらがスピーチし、そね都議

◆安倍政治に審判下すチャンス

を激励しました。

池内さおり衆議院議員は「都議選は安倍政治に審判を下す絶好のチャンス。自民党は改憲のためには都議選の圧勝が必要と言っている。北区から平和と自由の流れをつくって勝ち抜きたい」と決意表明しました。

遠藤久地区委員長は「定数減により、北区では大激戦となっている。勝ち抜くには、6月16日の赤羽駅東口の街頭演説を3000人で成功させ、その勢いをつけたい。ご協力をお願いします」とよびかけました。

日本共産党街頭演説

弁士
党委員長・
衆議院議員

志位和夫

来る

6/16(金)

午後6時 赤羽駅東口
お誘い合わせておでかけください

そねはじめレポート

はじめ～る通信

6月11日(日)

No.108

発行：そねはじめ事務所

〒114-0032 北区中十条2-11-6

Tel：3907-1135 Fax：3906-3225

日本共産党
都議会議員



自由党・新社会党が そねはじめ推薦を決定



▲そね都議に「檄」を手渡す新社会党の福田光一区議会議員

そね都議の「4人部屋」だから低料金特養ホームを実現 提案で年金で入れる

現在北区では、700人の方が特別養護老人ホームへの入所を希望し、待機しています。ところが順番が回ってきても、新型特養では個室のため、ひと月の利用料が10数万から20万円にもなり、辞退する例が相次いでいました。

そこで、そね都議は料金の安い多床室(4人部屋)を

提案。都に全体の3割まで多床室とすることを認めさせました。その第一号が北区で開設した新町光陽苑です。今年4月に開設した赤羽北さくら荘でも、施設の約3割が多床室に。さらに2カ所で作られる予定です。利用料は概ね8~9万円。「年金で払える」と歓迎されています。



シルバーパスの改善を

年収310万円以下の方は
年2万円を3,000円に

日本共産党
そねはじめ

高齢者の社会参加に大切な役割を発揮しているシルバーパス。しかし、負担が重く高齢者の半数しか利用されていません。日本共産党はより多くの方々に利用されるように改善する条例案を提出。継続審議になっています。日本共産党を伸ばして実現しましょう。

	現行 (収入が年金だけの方)	改善案
年収245万円以下の方	1,000円(年)	対象枠を拡大。収入の少ない人は無料化をめざす
年収245万円を超える方	2万510円(年)	年収310万円以下の方は3,000円に引き下げ

さらに、利用できる交通機関を、多摩モノレールやゆりかもめなどに拡大することを提案しています。

シルバーパスを攻撃する都民ファースト幹事長 若者と高齢者を分断 「自公の補完勢力」との批判が

都民ファーストの幹事長は、ブログなどでシルバーパスを「貧しい若者から富める高齢者への不適切な再配分」だと繰り返し攻撃しています。しかし税金の使い方の根本問題は、巨大開発優先にあります(右図)。

幹事長は「築地はむずかしい」と発言するなど豊洲移転派です。ネット上で9条改憲を主張し、加計学園疑惑も問題はないと発言。「これでは安倍自民・公明政権の補完勢力ではないか」との批判が広がっています。

